

2023年7月発表
半導体・FPD製造装置

需要予測

(2023年度～2025年度)

2023年7月6日

SEAJ

一般社団法人日本半導体製造装置協会

予測の概要

この予測は、半導体製造装置及び FPD 製造装置の需要動向に関して、一般社団法人日本半導体製造装置協会(略称 SEAJ、会長 河合 利樹)の半導体調査統計専門委員会及び FPD 調査統計専門委員会による需要予測と SEAJ 理事・監事会社 20 社による市場規模動向調査結果を総合的に議論・判断し、SEAJ の総意としてまとめた結果である。

半導体製造装置について、2023 年度の日本製装置販売高は、メモリーを中心とした設備投資の回復に時間を要する現状を反映し、前年度比 23%減の 3 兆 201 億円と予測した。2024 年度はメモリーの復調に加え、ロジック・ファウンドリーも投資の回復を見込むため、30%増の 3 兆 9, 261 億円とした。2025 年度も引き続き堅調な投資が継続されるため、10%増の 4 兆 3, 187 億円と予測した。

FPD 製造装置については、2023 年度は 1 月に予測した通り大型の投資案件が少なく、20%減の 3,425 億円と予測した。2024 年度は G8 基板での新技術を使った OLED 投資が始まるため 30%増の 4,453 億円と予測した。2025 年度も G8 クラスの OLED 投資継続を見込み 5%増の 4,676 億円と予測した。

(1)予測期間 2023年度～2025年度の3年間 (2023年度:2023年4月より2024年3月まで)

(2)予測項目 半導体製造装置の「日本製装置」及び「日本市場」販売高
FPD製造装置の「日本製装置」販売高

(3)予測の背景

(半導体産業)

2023 年の電子機器市場は、欧米を中心としたインフレの進行及び、それに対応した各国の政策金利の引き上げに加え、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化によるエネルギー価格の高騰、等、マクロ経済への不安により購買意欲が低下している。このような中、コロナ禍で一巡した PC やスマートフォンの出荷台数は前年割れの見込みである。それらに使われる半導体も、メモリーを中心に在庫が滞留しており、大幅な価格低下とともに現在も生産調整が継続している状況である。また、2023 年度の半導体製造装置市場は、ロジック・ファウンドリーやメモリーの設備投資が削減される見込みであり、中国を中心に成熟世代向けの設備投資が継続している状況を加味しても、市場縮小は避けられない見込みである。

2024 年には、新 CPU のリリースや ChatGPT に代表される生成 AI の活用の拡大により、データセンター向けサーバーの新規・入れ替え投資の増加が見込まれることやマクロ景気の回復とともに PC やスマートフォンの需要回復が期待できる。半導体製造装置市場においても、ロジックやメモリーの市況回復に加えて、各国政府の支援が投資回復を後押しすることが予想される。

2025 年の半導体製造装置市場も、PC、スマートフォン、データセンター向けサーバーの需要に加え、AR/VR、EV/自動運転などの多種多様なアプリケーションの伸長に支えられて継続した成長が見込まれる。

なお、WSTS(世界半導体市場統計)は、6月に最新の半導体市場予測を発表した。2023年の世界半導体市場規模は、メモリー価格の下落を反映し前年比10.3%減と2019年以来のマイナス成長を予想している。2024年は11.8%増の5,760億米ドルに回復し、過去最高値を更新するとしている。

(FPD 産業)

パネル価格は、コロナ禍におけるリモートワーク等の需要で、2021年夏にピークを迎えた。それ以降は、IT製品用(パソコン・タブレット向け)、TV用パネル共に単価の下落が続いたが、2022年秋頃にはほぼ下げ止まりとなった。特にTV用は2023年春より需給好転もあって価格が上昇している。しかし、設備投資を喚起するだけの力強さには欠け、2023年度の設備投資としては厳しい見方のままである。

一方で2024年からはOLED用G8基板の投資が本格化する見通しとなっている。IT製品へのOLEDパネル搭載検討が進んでおり、これまでのスマートフォン向けOLEDと比較し、1台当たりのパネルサイズが大きくなることから、生産効率のよいG8基板での製造が必要となる。既に装置メーカー各社では量産に向けた開発が進められており、一部工程ではG6基板とは技術的なハードルも異なるため、相対的にこの分野で先行する日本製製造装置の活躍が期待される。

(4) 予測結果

【半導体／FPD製造装置・日本製装置販売高予測】

2023年度は、半導体製造装置が23%減、FPD製造装置が20%減、全体で22.7%減の3兆3,626億円と予測した。2024年度は、半導体・FPD共に大きく回復し、全体で30%増の4兆3,714億円と予測した。2025年度も、半導体が10%増、FPDが5%増と堅実な伸びが期待できるため、全体で9.5%増の4兆7,863億円と予測した。

【半導体製造装置・日本製装置販売高予測】

2023年度は、米国の対中輸出規制による先端工場計画変更の影響やメモリー価格下落による設備投資削減の影響を織り込み、前年度比23%減の3兆201億円を予測した。2024年度はメモリー投資の回復に加えて、ロジック・ファウンドリーも回復するとともに、各国政府の支援の下、大型設備投資が計画されており、好調な投資が見込まれることから、30%増の3兆9,261億円とした。2025年度は更なる装置需要の増加により、10%増の4兆3,187億円を予測した。

【半導体製造装置・日本市場販売高予測】

2023年度は、パワー半導体を含む新しい分野の拡大に加え、大手ファウンドリーの投資が2024年初頭から一部寄与することを期待し、19%増の13,578億円と予測した。2024年度も大手ファウンドリーの投資が本格化しメモリー投資も復活し上乗せすることから、17%増の15,887億円とした。2025年度も大手ファウンドリーの継続的な投資が見込まれるため、5%増の16,681億円を予測した。

【FPD製造装置・日本製装置販売高予測】

2023年度は大型の投資案件が極めて少ないことから、20%減の3,425億円と予測した。2024年度はG8基板での新技術を使ったOLED投資が始まり、更にTV市場も新しいハイエンド製品シフトに向けた投資が出てくるため、30%増の4,453億円と予測した。2025年度もG8クラスのOLED投資継続を見込み、5%増の4,676億円と予測した。

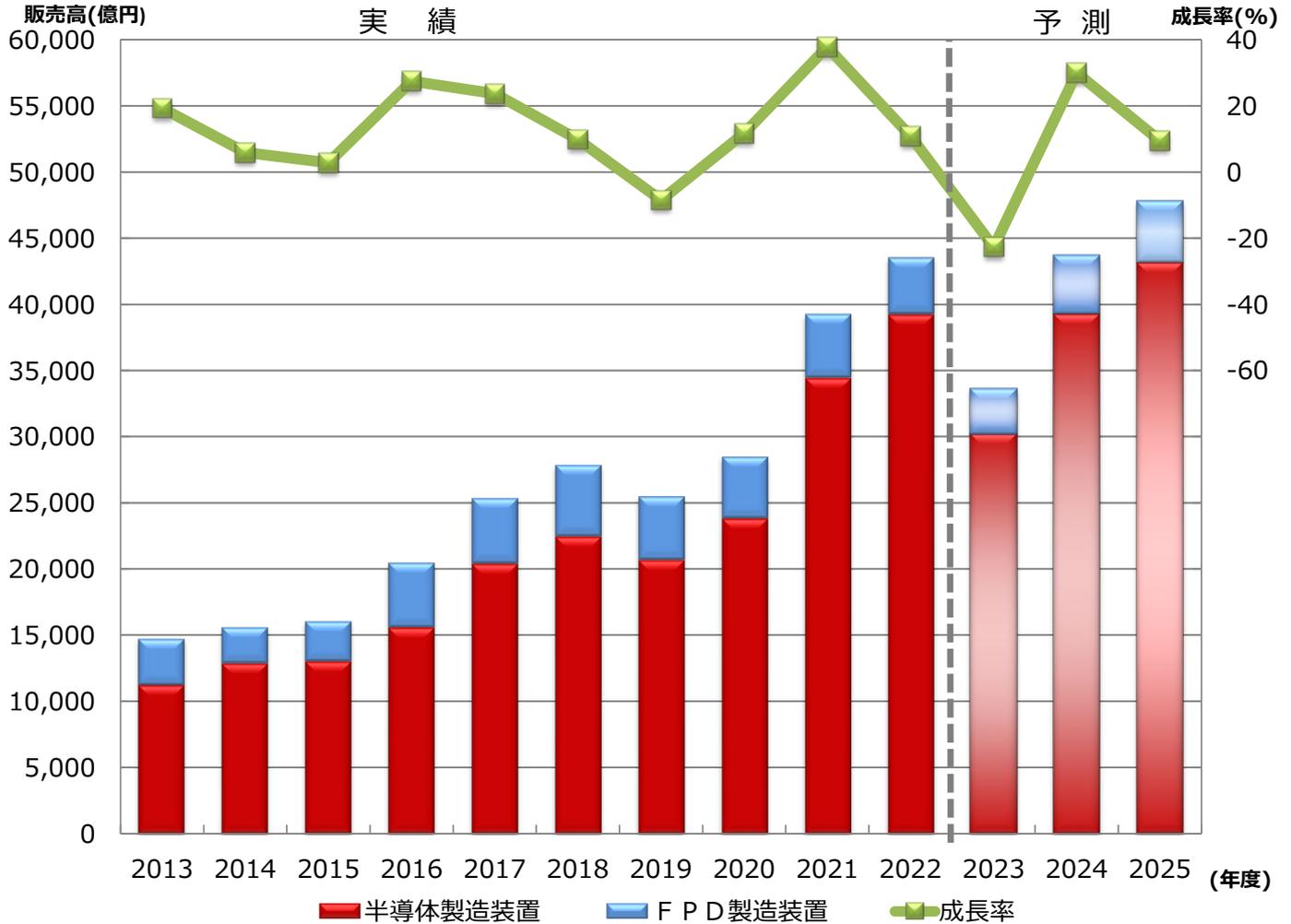
-以上-

2023年7月 半導体及びFPD製造装置 需要予測

■ 1. 半導体及びFPD製造装置 全装置予測

【日本製装置販売高予測】

*「日本製装置販売高」とは、日系企業（海外拠点を含む）の国内及び海外への販売高です。



(CAGR : 2022年度 - 2025年度)

年度	実績										予測			CAGR
	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	
半導体製造装置	11,278	12,921	13,089	15,642	20,436	22,479	20,730	23,835	34,430	39,222	30,201	39,261	43,187	3.2%
FPD製造装置	3,485	2,717	2,993	4,857	4,916	5,364	4,758	4,638	4,809	4,282	3,425	4,453	4,676	
合計(億円)	14,763	15,638	16,082	20,499	25,352	27,843	25,488	28,473	39,239	43,504	33,626	43,714	47,863	
前年比成長率(%)	19.3	5.9	2.8	27.5	23.7	9.8	-8.5	11.7	37.8	10.9	-22.7	30.0	9.5	

* 当協会の許可なく、この報告書を転載又は複写すること、公表または公表を補助することを禁止します。

* 2019年度はFPDの統計参加企業に変動がありました。統計参加企業の変更対象社名と金額は非公表です。

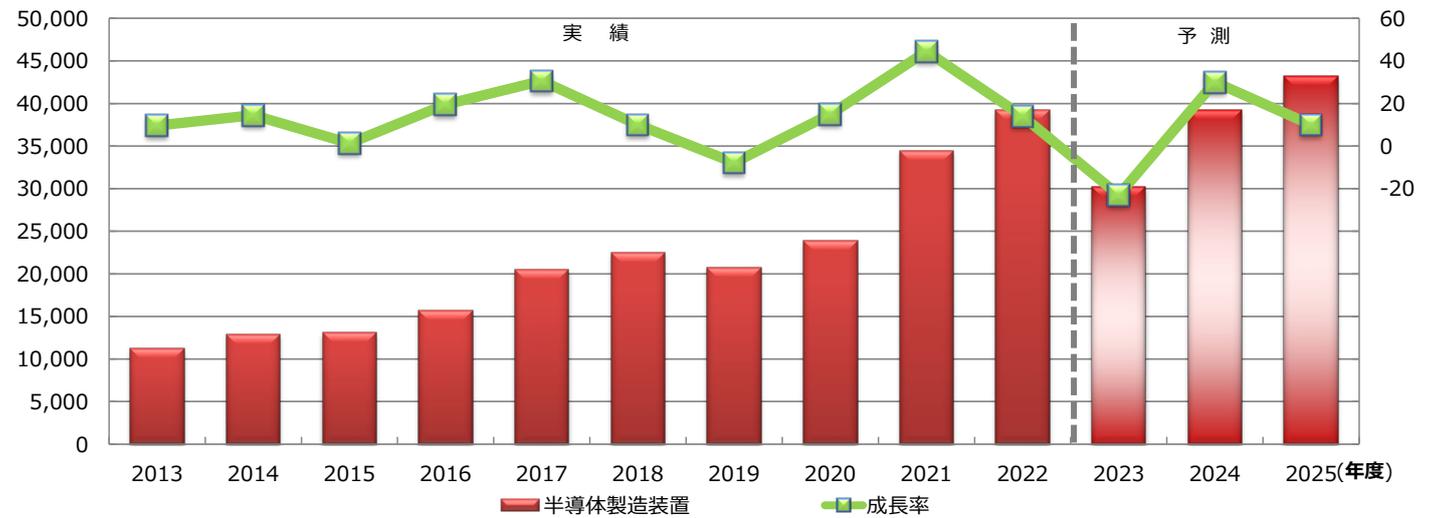
2023年7月 半導体及びFPD製造装置 需要予測

■ 2. 半導体製造装置

【日本製装置販売高予測】

*「日本製装置販売高」とは、日系企業（海外拠点を含む）の国内及び海外への販売高です。

販売高(億円)



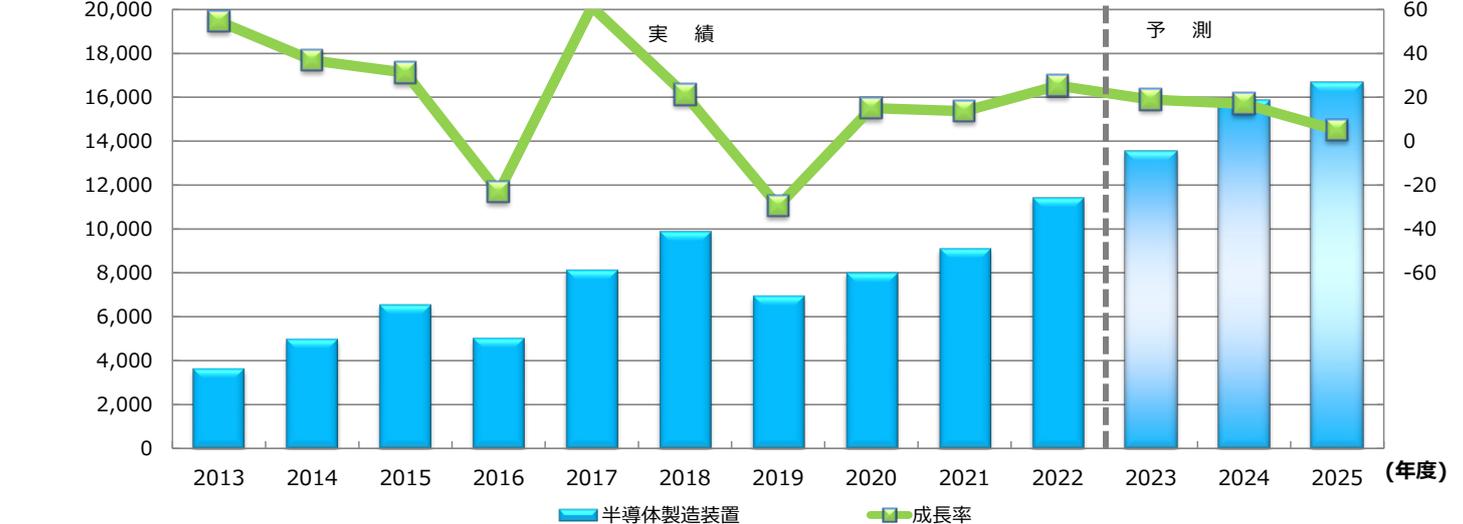
(CAGR : 2022年度 - 2025年度)

年度	実績										予測			CAGR
	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	
合計(億円)	11,278	12,921	13,089	15,642	20,436	22,479	20,730	23,835	34,430	39,222	30,201	39,261	43,187	
前年比成長率(%)	9.7	14.6	1.3	19.5	30.6	10.0	-7.8	15.0	44.4	13.9	-23.0	30.0	10.0	3.3%

【日本市場販売高予測】

*「日本市場販売高」とは、国内向日系企業及び国内向外資系企業製装置の販売高です。

販売高(億円)



(CAGR : 2022年度 - 2025年度)

年度	実績										予測			CAGR
	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	
合計(億円)	3,653	5,000	6,562	5,047	8,138	9,878	6,961	8,009	9,103	11,410	13,578	15,887	16,681	
前年比成長率(%)	54.6	36.9	31.2	-23.1	61.3	21.4	-29.5	15.1	13.7	25.3	19.0	17.0	5.0	13.5%

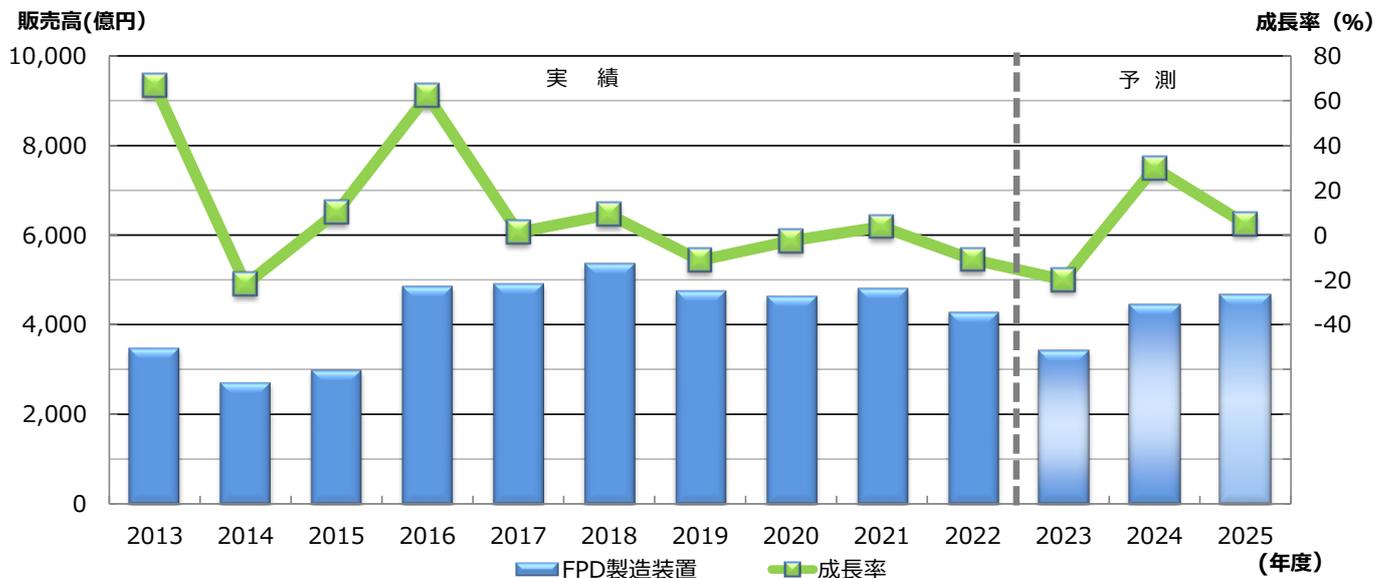
* 当協会の許可なく、この報告書を転載又は複写すること、公表または公表を補助することを禁止します。

2023年7月 半導体及びFPD製造装置 需要予測

■ 3. FPD製造装置

【日本製装置販売高予測】

*「日本製装置販売高」とは、日系企業（海外拠点を含む）の国内及び海外への販売高です。



(CAGR : 2022年度 - 2025年度)

年度	実績										予測			CAGR
	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	
合計(億円)	3,485	2,717	2,993	4,857	4,916	5,364	4,758	4,638	4,809	4,282	3,425	4,453	4,676	
前年比成長率(%)	66.8	-22.0	10.2	62.3	1.2	9.1	-11.3	-2.5	3.7	-11.0	-20.0	30.0	5.0	3.0%

* 当協会の許可なく、この報告書を転載又は複製すること、公表または公表を補助することを禁止します。

* 2019年度はFPDの統計参加企業に変動がありました。統計参加企業の変更対象社名と金額は非公表です。